



2月の行事予定

- 3日(木) 誕生会
- 15日(火) 避難訓練
- 25日(金) 新入園児説明会

※感染症の状況により中止、延期になることもあります。



3月の行事予定

- 3日(木) 誕生会
- 8日(火) 卒園旅行
- 11日(金) 健脚活動⑤
- 14日(月) 避難訓練
- 24日(木) 卒園式
- 30日(水)～31日(木) 自由登園



とんど



1月14日(金)にとんどともちつきを行いました。とんどは、お飾りや書き初めを燃した後、灰を顔につけて無病息災を願いました。もちつきは、職員が餅つきをする様子を見ながら「よいしょ」とかけ声で応援しました。昼ご飯で醤油、きな粉、あんこのトッピングでつくたてのお餅を味わいました。



もちつき



ほし組では手作り杵と臼に見立てた力ゴを使ってもちつきごっこも楽しみました。



丘の上知恵袋

- ・片方が泣いた時
- ・言葉が乱暴すぎる時
- ・手や足が出る時
- ・片方が助けを求めてきた時
- ・物で叩こうとした時
- ・どちらかが泣いたら何が原因で何が悪いのか考えて謝って終わりにする
- ・短時間で何度もケンカをしていると引き離す
- ・けんかになり始めた時に話を聞く
- ・見守りもせず両成敗し怒ってばかりです
- ・危ないなと思った時はすぐに止めに入る
- ・こどもの言い分を聞いたり共感したり、相手の思いを代弁したりしています。
- ・“解決しないな”と思う時には声を掛けています。



たくさんのご意見ありがとうございました♪

今月の“教えて♪”

Q. こどもが自分のしたことに対して嘘をついた時、どのような対応をしていますか？
また帳面に用紙を貼りますのでご意見を記入して下さい。ご協力よろしくお願いします。

園だより NO. 438号

くまのこだより

令和4(2022)年2月1日(火)発行
さくらが丘保育園



「保育者との信頼関係を基に」

保育者とのふれあいやりとりを通して、友だちと一緒に過ごすことが楽しくなっているのはな組のこどもたち。友だちのしていることや遊んでいるものが気になり真似をする姿がよくあります。また、友だちの名前と顔が一致してきている子もあり、保育者が「〇〇くん」と声をかけると友だちがその子と呼びに行こうとすることもあります。

ある日のこと。ホールに遊びに行こうとしていた時に、まだ保育室で遊んでいたAさんがいました。保育者が「Aくんホールに行こう」と誘うと保育者の近くで行くのを待っていたBさんがAさんのもとへ行き、“一緒に行こう”とばかりに手を引く姿がありました。Aさんも友だちが呼びにきてくれたことが嬉しかったのか手を繋いで一緒にホールへ行こうとし、友だちを意識しているんだなと感じる一場面でした。

はな組のこどもたちはまだ言葉でのやりとりができないため、時にはすれ違いが起きることもあります。そんな時には保育者が間に入り、こどもの声や表情から思いを汲み取り、その思いを尊重しながら「〇〇だったね」と言葉で代弁し伝えるようにしています。保育者との信頼関係を基に、こども同士が時間や空間を共有し遊べるように関わっていきたいです。

中村 詩捺



住所 赤磐市桜が丘東 6-6-704
 電話 (086)995-0104
 IP 電話 050-3494-4820
 FAX (086)995-0164

はなぐみ



手づかみやスプーンでごはんを食べているこどもたち。保育者がスプーンを持って口へ運ぼうとすると“イヤイヤ”と首を振り、“自分で食べたい”と伝えています。自分でしたい気持ちがどんどん大きくなっています。

自我の芽生えから、何でも自分でやってみたいの気持ちがフツフツと湧き出てきます。できなかったことに自分でイライラしてしまうこともあるけれど、大人もがまん、がまん。

つきぐみ



「ぞうきんどこ？」と聞いてくるBさん。「どうしたの？」と尋ねると、「誰かこぼしとる」と自分ではこぼしていないところを拭こうとしていました。自分のことではないのにしてあげようという優しい心ときれいにしようという心がけが素敵だなと思いました。

身の回りをきれいにすることは整理整頓にもつながります。“してあげている”という気持ちではなく、気づいたからしている姿、真似したいですね。



ゆきぐみ

指先に集中して、みかんの皮をむいています。時間をかけながら、最後までむいて満足気に食べています。

こどもは、指先を使って皮をむくことも、頭をフル回転させてしていることなんです。集中力が途切れないような関わりや、環境を整えたいと思います。



こーいね

にじぐみ

Aさんが服をパジャマ袋にしまえず困っていると保育者が「もうすこしががんばってごらん」と言って見守っていると、他の子がやってきて、していました。見かねてしている姿に優しさを感じました。

「もう、なんでやってあげんの？」「やってあげたらいいが」とこどもの心の声が聞こえてきそうな場面ですね。保育者としての気持ち、友だちとしての気持ち。いろいろな思いが交差して、たくさんの感情と触れ合い、育ち合っています。

ほしぐみ



秋ぐらいから食欲が増ってきて、いつもおかわりに行列ができています。ほし組分として用意してあるおかわりだけでは足りなくて給食室に「おかわりください」とお願いすることもしばしば。昼ご飯にピラフが出た日には、おひつ3杯をペロリと完食しました。こどもたちの気持ちいい食べっぷりに見ているだけで満腹になりそうです。きっと担任よりもたくさん食べているのではないのでしょうか。

元気な身体は、よく身体を動かし、しっかり食べ、たっぷり眠ることで作られます。バランスの取れた給食や食育キャラバンなどで、すこやかな育ちをサポートします。



おやつ後、うがいをしに行ったCさんがなかなか戻ってこなかったため見に行ってみると、流しに置いたコップの中に水をたっぷり入れ、それをジーっと見つめていました。「どうしたの？」と聞くと、「水がこぼれんのよ」と言うCさん。溢れそうになっている水が表面張力でこぼれないことが不思議だったようで、どこまで水を入れてもこぼれないのか試していたのです。“なんで？”と思う純粋な気持ち、それを追求しようとする探求心が素敵だなと感じました。

興味から探究心へ。こどもの探究心が膨らむよう、こどもが疑問に思ったことには丁寧に答え、わからない時は一緒に調べます。その大人の働きかけにより、積極性や自分で考え行動する力に繋がるといわれています。

